



水産大学校

たかはし あや
高橋杏弥 さん(左)

神戸大学
いわはら

岩原ほのか さん(右)

2021年度 学生海洋
ビジネスアイデアコンテストで
最優秀賞を受賞
「水中ドローンで藻場の回復」



▲プレゼンテーションの様子。
アイデアの斬新さと実現可能性
の高さが評価されました。

神 戸・静岡・横浜市が主催する
2021年度学生海洋ビジネスア
イデアコンテストは、海が持
つ課題等を解決し、またビジネスへの
発展につながることを期待されるアイ
デアを全国から募集。応募数 21 点の
中から、高橋さんと岩原さんのアイデ
アが見事、最優秀賞に輝きました。

2人は幼なじみで、高校を卒業する
までずっと同じ学校でした。通う大学
は違えど、海洋をテーマにした学問が

2人を引き合わせ、出場を決意。2人
のアイデアは、磯焼けに着目し、水中
ドローンで原因生物を間引き、藻を植
え、さらにドローンを案山子とするこ
とで藻場の回復を図る方法です。

高橋さんは「2人で構想を練った時
間はとても楽しかったです。コンテス
トを通して多くの交流ができ、視野が
広がりました。今後は、未利用魚の研
究や食を通じた地域振興に携わりたい
です」と意気込みを話してくれました。

しものせき 海峡まつりと ウィズコロナ



市長コラム

希望の風

市長の部屋

皆さんこんにちは！ 前田晋太郎です。
今年のしものせき海峡まつりは、晴天
にも恵まれ、3年ぶりに屋外イベント式
で開催することができました。下関商工
会議所青年部をはじめとする、開催にご
尽力された実行委員会の皆さんに心から
感謝を申し上げます。

下関の歴史を奏でる先帝祭は、残念なが
ら神事のみで開催となりました。来年こ
そは美しい上臈の姿を、皆さんと共に楽
しむことができるように願うばかりです。

さて、5月に入ってからは連休中のイ
ベント開催や観光客の賑わいをはじめ、
コロナで失った私たちの日常が少しずつ
前の形に戻ってきており、大変喜ばしい
ことだと感じています。

コロナを恐れて動きを止めてしまうので
はなく、これからの時代は必要に応じてマ
スクをし距離をとりながら、どうすれば
私たちらしい日常を取り戻すことができる
のか、そして社会や経済の活気を取り戻す
ことができるのかを考え、勇気を



出して実行しなくてはなりません。
そんな、そういうステージに立たされ
ていると、私は強く感じています。
2年半にもわたり、献身的に
私たちの安心を支えてくださっ
ている医療従事者の皆さんへの
感謝の気持ちを忘れず、市民の
皆さんにはこれまでの知識と経
験に基づいた社会活動を、そし
て平穏な日常生活を送っていただ
きたいと心から願っています。